

女川原子力発電所第2号機 工事計画審査資料	
資料番号	02-工-B-19-0400_改0
提出年月日	2021年8月3日

VI-2-7-3-2-1 管の耐震性についての計算書  
(サプレッションプール水貯蔵系)

02 ③ VI-2-7-3-2-1 R0

2021年 8月

東北電力株式会社

本資料は、実用発電用原子炉及びその附属施設の技術基準に関する規則第5条（地震による損傷の防止）の技術上の基準に対し、サブプレッションプール水貯蔵系設備を撤去することによる影響を説明するものである。

液体廃棄物処理系であるサブプレッションプール水貯蔵系設備と取合う既設設備は、サブプレッションチェンバ、残留熱除去系配管及び床ドレン・化学廃液系配管、電源供給元である制御盤、操作盤等である。

サブプレッションプール水貯蔵系設備の撤去工事においては、サブプレッションプール水貯蔵系設備と既設設備の取合い部は適切に処置することとしている。

具体的には、配管は取合い部で切断し閉止することで既設設備と切り離し、また制御盤、操作盤等については、予備化、端末処理等を行うこととしており、添付書類「VI-2-2-2 原子炉建屋の耐震性についての計算書」にて評価する原子炉建屋、添付書類「VI-2-9-2-1-2 サプレッションチェンバの耐震性についての計算書」にて評価するサブプレッションチェンバ、添付書類「VI-2-5-4-1-4 管の耐震性についての計算書（残留熱除去系）」にて評価する残留熱除去系配管及び床ドレン・化学廃液系配管への耐震性に影響を及ぼすことはない。